



令和2年 6月9日

## 第二回ハセクラ・カップを日本で！

### 企画書

#### 1. 背景

1613年仙台藩主伊達政宗公の命により支倉常長率いる慶長遣欧使節団は“伊達の黒船「サンファン・パウティスタ号」”に乗り込み、石巻の月の浦からスペインとローマに向けて出帆しました。一年後セビリア県コリア・デル・リオ（以下「コリア市」）に上陸、マドリッドにてフィリッペ王に謁見しさらにその翌年イタリアのチヴィタヴェッキアからローマに向かいローマ法王に拝謁しました。コリア市には、使節団の末裔とされ、スペイン語で「日本」を意味する「ハボン」姓を持つ人々が700名以上いると言われていています（セビリア県全体では1,000人以上）。コリア市のハボンさんたちは、1980年代から「スペイン・ハボン・ハセクラ協会」という組織を作り日本との国際交流を進めてきましたが、東日本大震災を機にそれが一層活発になり支倉所縁の土地にも何度か訪れています。自分たちは「侍の血を継いでいる」と信じている彼らは、日本人の誇りを胸に遠い故郷の復興を願って様々な活動が続けているのです。そして2018年、そのハボンさんたちの活動に呼応する形でニューヨークー仙台・石巻・女川ーマドリッド・セビリア・コリアを結ぶ「ハボン・ハセクラ後援会」が発足しました (<http://www.japon-hasekura.com>)。400年以上の時を経た今、政宗や常長の思いを引き継ぎ、広く世界にそして子供たちにも正しくこの偉業を伝え、未来に繋げていくことを目的に、真のグローバル規模での国際交流事業を様々な形で推進していこうという趣旨のもとに有志達が結集したものです。

#### 2. ハセクラ・カップ

後援会が主催する最初のプロジェクトとして、被災地宮城県女川町のサッカークラブチームであるコバルトーレ女川のジュニアの選手23名を2019年3月末から10日間「平成最後のハボン・ハセクラ使節団」としてスペインに派遣しました。東日本大震災で町の住民の約一割の命が失われ9割の住民が家を失うという壊滅的な被害にあった女川町の人たちにとって、コバルトーレはまさに希望の星であり復興の精神的な支えでもありました。その女川町のシンボリックな存在であるコバルトーレのU15の子供たちが、コリア、マドリッド、セビリア各地を表敬訪問し、セビリアの「レアル・ベティスU15」、コリア市の「コリアCF U15」および「コバルトーレ女川U15」の3チームによって競われる「第1回ハセクラ・カップ」に参加したのです。現地では、コリアCFの選手およびハボンさんのお宅にホームステイし、400年という時を超えた「絆」を共有し支倉常長たちの偉業を肌で体験することができました。正に平成最後の使節団として立派にその使命を果たして帰国しました。セビリア市・コリア市と仙台市・石巻市・女川町、ひいてはスペインと日本の国際親善に大きく貢献してくれました。

一方、昨年夏には20人を超えるハボンさん達が令和最初の使節としてコリア市から来日しました。後援会一行を宮城県に招待し、仙台、石巻・女川、大郷町、川崎町など支倉所縁の土地を案内し、ハボンさんとそれぞれの土地の人たちとの絆をより一層深めることに貢献できました。特に、「是非仙台で結婚式を挙げたい」という一人のハボンさんの強い要望に応え、“杜の都の迎賓館”として格式を誇る伊達藩所縁の仙台勝山館にて挙式を執り行い全国的にメディアでも注目されることとなりました。

#### 3. 第2回ハセクラ・カップの実現に向けて

第1回ハセクラ・カップの成功を受けて関係者の間では“継続して持ち回りとして大会を開催し絆を深めていこう”という機運が高まっていました。それを後押しするいくつかの要素があります。

##### 1) 「支倉リーグ」構想

かねてよりコリア市のモデスト・ゴンザレス市長は支倉常長と関係の深い世界の都市および日本の都市の間での友好関係を築き、音楽・スポーツなどの文化交流だけでなく、お互いの歴史・伝統等への尊重と理解を深めつつ、観光、経済活動、教育、学術などの分野でも交流を広め、リーグ（同盟）として結束してお互いの繁栄と発展を目指していこうという構想を持っています。彼が来日し各都市の首長に表敬訪問した時も必ずこの構想を披露し協力を呼び掛け



ています。まずは常長の銅像が立つ各都市をはじめ、出生の地そして終焉の地とされている土地など下記の都市から広げていこうという計画です：

仙台、石巻・女川、川崎町、大郷町、米沢、コリア、セビリア、チヴィタヴェッキア、アカブルコ、ハバナ

「ハセクラ・カップ」という子供たちのサッカー親善試合を、この壮大の構想を実現していく足掛かりとすることは極めて有効ではないかと考えられます。

## 2) 女川の新スタジアム

女川町ではコバルトレ女川のホーム・スタジアムとして新しいスタジアムの建設を進めています。これを震災からの復興のシンボルとしても位置付けています。完成すれば5千人を収容できJ3の試合ができる本格的なスタジアムとなります。コバルトレ女川がJFL復帰を目指しさらにJ3に格上げになれば全国から強豪チームとそのサポーターが大挙して女川に押し寄せることになり、町の復興の加速そしてさらなる発展が大いに期待できます。新スタジアムは2020年の完成予定でしたが、新型コロナ騒動の影響もあり2021年にずれ込む見込みです。この新スタジアムでハセクラ・カップを開催することはコバルトレ女川そして女川町を全国にアピールする良い機会になるでしょう。

## 3) コロナ・パンデミックからの復活宣言

ご承知の通り、昨年末中国の武漢で発生した新型コロナウイルスは全世界に蔓延し、特にヨーロッパではスペインとイタリアで大量の犠牲者を出してしまいました。セビリア市はもとよりコリア市やチヴィタヴェッキア市でも死者が出ています。疫病と大津波という違いはあるにせよ大災害からの復興を共に支援し合う姿をサッカー親善試合を通してアピールできれば全世界に勇気と希望を与えるとともに政宗・常長の偉業の周知化を図る意味でも意義は大きいものと確信します。

## 4) 常長没後400年

常長の墓地の所在地に関しては諸説あるものの、亡くなったのが1622年（元和8年）であることは史実として確立されています。その400周年となる2022年にハセクラ・カップを地元宮城県で開催することも常長の残した偉業を伝える意味としては大きいと思われるます。

## 4. 第2回ハセクラ・カップの概要（暫定）

- **大会名称（仮称）：** 支倉常長没400周年記念 第2回ハセクラ・カップ
- **趣旨：** 新型コロナ・パンデミックや東日本大震災で被災した支倉常長所縁の都市のサッカー少年たちが一堂に集い、親善試合を通して友好と復興支援の絆を深める。今後「支倉リーグ」を展開していく上での足掛かりとする。
- **日時：** 2022年7月23日（暫定）
- **場所：** 女川町 新スタジアム（新陸上競技場）、2021年完成予定。
- **参加チーム：** 下記ユースチーム（U-15）

スペインより	Coria FC（コリア市）、Real Betis（セビリア市、スペイン1部リーグ）
イタリアより	Calcio1920（チヴィタヴェッキア市：石巻の姉妹都市）
日本より	仙台、石巻、川崎町、大郷町の各代表チーム
ホスト	コバルトレ女川
- **試合形式：** 参加チームの数によって詳細を決定する。
- **大会予算：** 2,000万円  
コリア、セビリア、チヴィタヴェッキアの各チーム20人を招待。渡航費用：概算3,000€/人  
ただし、500ユーロは参加選手の親に負担していただく。  
2,500€ x 60人 = 150,000€（約1,800万円）  
運営資金（貸し切りバスやカップやメダルの費用を含め）：200万円
- **大会運営：** コバルトレ女川



この企画書はあくまでもタタキ台としての提案書です。今後各方面の関係者と打ち合わせの上詳細を詰めていくこととなります。単にサッカーの親善試合で終わらせるのではなく子供たちの心に一生残るような貴重な体験と思い出をプレゼントしてあげたいと考えています。第一回大会ではコバルトーレの子供たちは現地で熱烈な歓迎を受けました。ハポンさん達のお宅にもホームステイさせていただいたり、スペイン1部リーグの試合観戦に招待されたり貴重な経験を積むことができました。同じようにスペインとイタリアからやってくる子供たちに、常長ゆかりの地を見学してもらおうと同時にホームステイや学校訪問など様々な交流の場を提供してあげたいと思っております。皆様方からいろいろなアイデアをいただきたいと思っております。

そのためにも“支倉リーグ”に関わる各都市、教育行政機関の強力なご後援を是非賜りたいと思っております。地元の企業や個人の方々からも広くスポンサーを募集することとなります。同時にメディアスポンサーとして積極的にご協力いただけるメディアも歓迎したいと思っております。

政宗と常長の“夢”は400年の時を経て別な形で大きな花を開かせようとしています。この意義あるプロジェクトを実現するために各方面の方々の絶大なご理解とご支援をお願いする次第です。

令和2年6月9日

白田 正樹

#### ハポン・ハセクラ後援会について

アメリカのNPO 9.11風の環コンサート、ニューヨークの日系混声合唱団「とも」、仙台の混声合唱団「萩」そしてスペインの日西観光協会らを中心とする有志らは2012年より、コリア市で活動続けるハポン・ハセクラ協会と連携し、ニューヨーク、仙台/石巻、コリアの3カ所を結んで東日本大震災被災地の復興支援を軸とする様々な交流事業を続けてきました。そしてそれらの活動を引き継ぐ形で2018年12月、仙台にてハポン・ハセクラ後援会が正式に発足いたしました。

#### <ハポン・ハセクラ後援会連絡先>

アメリカ：           ハポン・ハセクラ後援会会長（NPO風の環メモリアルコンサート代表） 白田正樹 （在ニューヨーク）  
USA: +1 (201)612-0410   [mikeshirota125@gmail.com](mailto:mikeshirota125@gmail.com)

スペイン：           ハポン・ハセクラ後援会副会長（日西観光協会会長） 下平晴朗 （在マドリード）  
携帯電話 34 609 163 053   [haruo.shimohira@gmail.com](mailto:haruo.shimohira@gmail.com)

日本：               ハポン・ハセクラ後援会副会長（コバルトーレ女川 社長）近江弘一（在石巻）  
携帯電話 090-3641-6792   [ohmi@cobaltore.com](mailto:ohmi@cobaltore.com)

日本（事務局）      ハポン・ハセクラ後援会事務局長 寺田美穂子 （在仙台）  
:                      (090)8618-8018   [info@japon-hasekura.com/mihoko.terada@gmail.com](mailto:info@japon-hasekura.com/mihoko.terada@gmail.com)



## 第1回ハポン・支倉使節団 ハセクラカップ



ハセクラ・カップ



支倉パークでのセレモニー



コリア市長と共に記者会見



レアル・ベティス訪問



ラ・リーガ様ご招待による試合観戦



ホームステイの様子

## ニューヨーク風の環青少年少女合唱団



ハセクラ・カップ前の国歌斉唱



お花見フェスティバルでの合唱



トマレス市での合唱交換

スペインでの日程：青色のリンクをクリックすると各報告書（note）に移動します。

	コバルトレ女川ジュニアユース	ニューヨーク風の環青少年少女合唱団
3月29日	<a href="#">成田発</a>	ニューヨーク発
3月30日	<a href="#">マドリード観光</a> <a href="#">ラ・リーガ様によるご招待でラ・リーガ観戦</a> <a href="#">レアル・マドリードのスタジアムツアー</a>	コリア・デル・リオ到着
3月31日	コリア・デル・リオ到着。 <a href="#">コリア・デル・リオ市内観光</a> <a href="#">ホームステイ開始</a>	コリア市内観光。練習
4月1日	午前：レアル・ベティス訪問。 <a href="#">スタジアムツアー</a> とトレーニング	市内小学校訪問
	午後： <a href="#">市役所主催歓迎会</a>	午後：市役所主催歓迎会
4月2日	午前： <a href="#">コリア市内の中学校訪問。合同体育</a>	午前：学校訪問。合唱交換
	午後： <a href="#">コリアCFと練習試合</a>	午後：コリアCFとコバルトレの練習見学
4月3日	午前： <a href="#">市庁舎にて記者会見</a> 。 <a href="#">支倉公園リニューアルセレモニー</a>	午前：市庁舎にて記者会見
	夕方： <a href="#">ハセクラ・カップ</a>	夕方：ハセクラ・カップ応援
4月4日	<a href="#">セビージャに移動しセビージャ観光</a> <a href="#">ラ・リーガ観戦：アラベス対セビージャ</a>	セビージャに移動しセビージャ観光
4月5日	帰国	トマレス市に移動。学校で合唱交換
		ホームステイ開始
4月6日		昼：お花見フェスティバル参加
		夜：トマレス市主催の合同コンサート
4月7日		帰国